



パイロット通信 12号

平成30年2月14日（水）

①第18回「学びの変革」パイロット校事業に係る校内授業研究会について

2月6日（火）に第18回校内授業研究会を実施しました。1年生の理科の授業で、前時に火山の形が違う原因は「マグマのねばりけ」「マグマの量」「マグマの勢い」「火口の大きさ」の4つではないだろうかと考えた生徒が、本時では「火山の形はマグマのどんな違いによって決まるのだろうか」という課題を解決していきました。「マグマのねばりけが多いと傾斜が急な火山になるだろう」など生徒は仮説を立てた後、各班で協力し実験を進めました。さらに、各班でまとめた実験結果をタブレットを使って交流し、火山の形はマグマのねばりけに関係しているのではないかとすることに生徒は気付きました。自分たちで立てた仮説に対し実験を通して検証していくという授業になりました。府中市教育委員会津田典和主査からは「認める、修正、深めるという3つの役割が教師にはあります。この3つの役割を意識して、常に授業を振り返ってみてください」とご助言をいただきました。



②第19回「学びの変革」パイロット校事業に係る校内授業研究会について

2月7日（水）に第19回校内授業研究会を実施しました。2年生の英語科の授業で「ALTの先生に府中のおすすめスポットを伝える英文を考えよう」というめあてのもと授業が始まりました。尾道市を例に、尾道のおすすめスポットを「There is /are～」構文を使って授業者がALTに紹介する対話を聞いた生徒は、その英文表現を模倣して、府中のおすすめスポットの紹介文を考え、ワークシートに記入しました。さらに、ワークシートに記入した英文をお互いにチェックした後、全体で交流しました。生徒は紫陽花で有名なお寺やTAM, 三郎の滝などをALTに紹介しました。生徒の事後アンケートでは「今日の授業は好き、面白い」の項目で肯定的評価が90%をこえました。府中市教育委員会 武田千絵主査からは「小学校の英語では聞く力、話す力の育成に力を入れています。聞く、話すの力をさらに伸ばす授業提案を中学校ですていただけることを期待しています。」とご助言をいただきました。

